

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2017

7

No. 665

January



稲作体験交流の仕上げ!!

健康米生産者と
子どもたちで餅つき

新年のびょうびょう

謹んで初春のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長 矢崎 和廣



新しい年を迎え、組合員・消費者・地域のみなさまにおかれましては穏やかにお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、引き続き厳しい農業情勢の中、農協事業にご理解ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

酉年は商売繁盛となる年

今年「酉年」です。辞書で調べましたら「取り込む」に繋がるといわれ、「運氣もお客も取り込める」というものです。また、酉の由来に「果実が極限まで熟した状態」というものがあり、そこから「物事が頂点まで極まった状態」が酉年だと言われています。

昨年の初めから検討を進めて

参りました、新商品「飲むヨーグルト」の施設整備につきま

しては、補助事業の関係もあり、国、県、そして中津市と関係機関にご協力頂き、取り組みが始められる事となりました。ようやく物事が極まった状況となり、今年の夏ごろからは「飲むヨーグルト」の販売によって農協も生産者もまさに「商売繁盛」となるように頑張つてまいりたいと思います。

組織の大同団結で農協潰し阻止を

政治に目を向けますと、昨年末は「年金カット法案」「TPP承認案」「カジノ解禁推進法案」など立て続けに強行採決が行われました。

安倍首相は「これまで強行採決はした事が無い」と言いましたが、多くの国民に不安や不信感があり、反対多数の声の中、野党の意見に耳を傾けず、殆ど議論も尽くすことなく、数の原

理で採決した事は、強行採決以外の何ものでもありません。

止まるどころか、歯止めのない安倍政権の暴挙には組織あげての大同団結で立ち向かうしかないと思います。

野党も政策で一致する点での野党合意で戦い、しっかりと成果をあげています。

今年こそ、「農協改革」「TPP問題」に毅然と立ち向かい、真剣に農業、農協を守る運動を展開する事が系統組織の大きな役割であり、農協の存在価値を示す大きな転機となります。

全国の農協にとって、地域での農協の存在意義はもちろん、全国的運動が今ほど求められている時はないと思います。

農協改革の中、問われる農協の存在意義

引き続き農業、特に子牛生産農家を除く畜産を取り巻く状況は厳しいと思います。取り組んでいる新規就農者の募集・確保も厳しいのが現状ですが、厳しい中でも地道に、そして農協も出来る場所は援助する中で新規の生産者の掘り起こしが出来るように努力して参ります。今年度事業の基本方針として

掲げています「生産の維持・拡大」も、飲むヨーグルトの製

造・販売に繋がる乳量の増産、おおい冠地どり等では一定の成果は出ていますが、その他は厳しい状況であり、農家と一層協議を進めながら引き続き生産拡大に全力をあげ、農協の経営も安定させなければなりません。

一方で、安倍政権による「農協潰し」の農協改革が進められる中、農家の所得増大はもちろん、地域で生活する事が困難な環境になる中にもあっても、地域のライフラインとしての役割も果たし、「下郷には下郷農協があるから助かる」と言っていただけのように、その存在意義を発揮したいと思います。

小さい農協の生き残りは決して楽な状況ではありませんが、今年一年、農家組合員の営農と生活、職員の待遇が向上し、地域が少しでも発展する中で、農協も事業計画が達成出来るよう、精一杯頑張っていく所存です。組合員、そして消費者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。寒い折です。どうぞ体調には気をつけてください。今年もよろしくお願い致します。

こんにちは！ デイケア元氣村です

新年あけましておめでとうございませう。

今年も、皆様にご満足して頂けるようなサービスが提供できるようスタッフ一同努力して参ります。

どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。

さて、デイケアでの楽しい行事を紹介致します。

柿坂保育園の園児たちの慰問や誕生会、お楽しみレクリエーションではキーキやしめ縄飾りを作



▲コマのキーホルダーを作られた玉井十一さん (左)



▲柿坂保育園児が慰問

りました。

かわいい園児たちから元氣をもらい、利用者様はとびつきの笑顔になりました。

また、鎌城地区の玉井十一様よりデイケアの利用者様とスタッフにコマのキーホルダーを頂きました。玉井様は、それを1,000人にプレゼントすることを目標にされているそうで、目標達成に向けて頑張られている玉井様!!とてもキラキラ輝いていました。ありがとうございました。



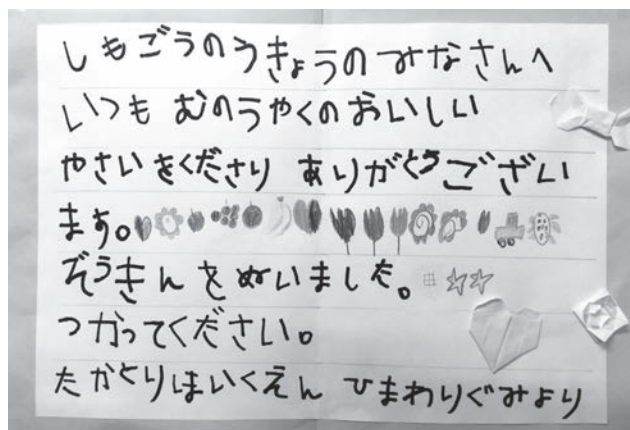
手縫ぞうきん・手作りクッキー

福岡市・高取保育園ひまわり組園児から

下郷の野菜や納豆を給食に取り

入れている、福岡市・高取保育園のひまわり組園児から、かわいいお礼のお手紙と、手縫いのぞうきん・手作りクッキーが届きました。

頂いたぞうきんやクッキーは、毎日丹精込めて作っている野菜生産者（生産組合）にも分けました。ありがとうございました。



地域に根ざした医療・介護福祉の拠点として

「元気で長生き」デイケア元気村のサポート



下郷農協新聞の

新春企画「新春座

談会」は、過疎・

高齢化の問題が深

刻化するなかで、

地域医療機関の農

協立下郷診療所と

連携した介護福祉

事業を展開する「デ

イケア元気村」で

働く若いスタッフ

と下郷農協組合長

に、元気村の魅力

や今後の地域医療・

介護福祉について

語って頂きました。

コーディネーター

は代表監事の鈴木

健久さんです。

「ありがとう」に

介護のやりがい

鈴木 明けましておめでとう

ございます。今回の新春座談

会は、組合長とデイケアの若

いスタッフが新年にあたって

の抱負や、組合員・地域の方々

に「デイケア元気村」の魅力・

楽しさなどをアピールして頂

ければと企画しました。

コーディネーターを務めま

す私は、いま農協で代表監事

をしています鈴木です。また、

以前はデイケア元気村で送迎

の運転手を手伝っていたこと

もあります。

組合長 これまでの新春座談会

では農協事業の柱である「産

直」にスポットをあて、農協

ロゴマークにも示された消費

者・生産者そして農協という

関係の中で、三世代で農協商

品をご利用の産直消費者の方

や若い酪農後継者、農協で働

く若い職員（青年女性部員）

と対談してきました。

今回はもう一つの柱である

地域医療という点で日々高齢

者の方と介護という形で接し

ている皆さんと話しながら、日

頃感じている事や今後の地域



矢崎組合長

医療、介護福祉などについて
対談させて頂き、今後の農協
の果たす役割についての参考
とさせて頂きたいと思ひます。

鈴木 それでは自己紹介して
頂き、どんな仕事をしている
のか、こんなことがやりがい
と感じる点や、ここが大変と
思う事などお話しください。

曾我 曾我いずみです。下郷
に嫁いで19年、子どもは3人
で高校生・中学生になります。
もう手がかからないと言って
も高校への送迎等、日々忙し
い毎日を送っています。

「元気村」では介護を中心に、
介護福祉士としてリハビリ計
画や新規利用者様との契約手
続きに向いたりしています。
状態が悪かった利用者様がリ
ハビリを重ねて行くうちに状
態が安定したり、肩が痛くて
腕が上がらなかつた方が、痛
みが軽減されて「ここまで上

がるようになったよ、ありがとう」と、感謝のことは頂ける事にやりがいを感じます。

時 増 時増寿子です。嫁いで11年目、子どもは小学4年生が一人います。「元気村」に勤めて4年目になりますが、まだまだ利用者様に教わることが多いです。仕事は自転車こぎなどのリハビリや個人リハビリの対応、入浴介助などしています。利用者様の筋力が衰えない様に、今の状態を低下させず維持できるようにするのが、なかなか難しいと感じます。

中 尾 中尾裕美です。私は津民地区に住んでいて嫁いで10年、子どもは小学生2人と保育園児の3人です。「元気村」に勤めて8年目です。職業は看護師です。

育児の事を考えて病院勤務ではなく耶馬溪で職場を探し、デイケア元気村で働く事とな



時 増 寿 子 さん

りました。

ご高齢者の方は頑張る人が多くて、今まで苦勞を重ね我慢強いところがあるので、リハビリの頑張りにも感動します。仕事の中ではちよつと体調が悪いとか、そういうところがいち早く見つけられればと思います。

鈴 木 「ぜひデイケア元気村

に来て」と声をかけるとしたら。

中 尾 仕事をリタイアして人と会う事が少なくなった方は、外出する機会を増やせば他の人と接する事も楽しみにもなるので、他の趣味とか楽しみを見つけるために、まずは外出する第一歩となるよう、「元気村」がきっかけになればと思います。

曾 我 お友達と会う機会が少なくなったとか、隣り近所に行くのがきつくなったりとか、畑仕事がそろそろできなくなったりと感じられるようになったら、「元気村」をぜひご家族で検討してもらいたいです。

スタッフ体制充実で

利用者様の機能向上を

鈴 木 組合長に「デイケア元

気村」の運営経過や今後の介護・福祉について、方針などを伺いたいと思います。

組合長 経営だけ見ると、下郷農協だから続けられているところが大きいと思います。やはり民間・個人で地域医療をやるのは厳しい環境があります。行政が力を入れないと厳しい実態もあります。

農協は当初、農業に長年励まれた組合員の老後は「元気で長生き」をめざし、地域医療に関わってきました。

私も職員時代の平成10年に一年間、診療所・デイケア元気村の業務に携わりました。が、平成元年の診療所開所以来「厳しい、厳しい」と病院経営の難しさを10年間言われ続けた中、さらにデイケア事業に取り組むのは困難がありました。何とか組合員のご理解を頂きながら事業を進めてきました。

当時、まだ地域で介護・福祉事業に踏み込む人が少ない中で勇気をもって事業を進め、今ではデイケアは随分と診療所事業にも貢献しています。ただ、国の進める介護制度は後ろ向きの政策が続けら



曾 我 いずみさん

れ、厳しい状況であるのは事実です。介護度の変更など介護スタッフの皆さんには限られた人員体制で大変でしょうが、この地域に無くてはならない介護・福祉の拠点として頑張り続けたいと思います。

鈴 木 逆風の中でスタートしたデイケア事業は、現在随分と診療所事業に貢献しているとのことです。そんなデイケアを支えるスタッフとして、この機会に組合長へ何か要望等あればお願いします。

時 増 厨房スタッフ含め、正直スタッフがもつと欲しいです。曜日によっては、見守りや介助が必要な介護度の高い利用者様も多く、スタッフ体制の充実で安心して介護・リハビリが可能になり、利用者様の更なる機能向上にもつながります。

曾 我 リハビリ計画は、診療

所長からのリハビリ指示書を基に作成しています。

以前「元氣村」には理学療法士がいましたが、やはり理学療法士や作業療法士のスタッフを加われれば、リハビリの内容が充実し、利用者様に対してよりきめ細やかな介護サポートが出来る進捗状況を見てもらい更に訓練してもらおうと機能が格段に上がると思います。

中尾 車いすの動線の関係などで施設面をもう少し充実できれば、利用者様も使いやすく、安全性の向上にもつながると思います。

鈴木 色々な意見が出ましたが、利用者にとっても機能訓練しやすく、スタッフにも働きやすい職場環境を作ってほしいという貴重な要望です。

* * *

鈴木 皆さん子育て中という事ですが、都会ではなく田舎で子育てしている感想や、農協のあるこの地域で働きながら育児している若いお母さんの声を教えてください。

曾我 一般的には育てやすい環境です。人柄も良く地域の

人も我が子のように接してくれるところがいいです。

時増 学校が終わると、「さだや文庫」(*1)があるので助かります。悪いことをするとしつかりさだやのスタッフが叱ってくれます。だから田舎で育った子は素直な子が多い気がします。

中尾 周りの方もかわいがってくれ、よく見てくれます。危ないことをしていても教えてくれるので、いいなと感じています。

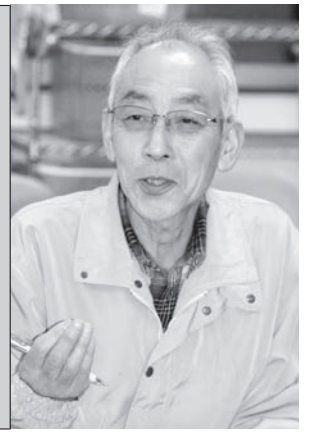
ただ、津民小学校は全校で生徒が16名と少なく、近くに友達がいないのが少し寂しいです。

安心して元気で暮らせる

地域守って

鈴木 この地域で働き、田舎で子育てすることについて伺いましたが、農協がこの地域で働く場を作って、地域を守る大切な役割を果たしている中、農業・農協を巡ってはTPPや農協改革など様々な逆風もあります。組合長は今後どのように地域を守って行こうとしているか教えてください。





鈴木 健 久さん

組合長 TPPも農協改革も自

助努力だけでは厳しい面も起こり得ます。特に金融については農協自体がJAバンクの一員として個々の体制に関係なく規制が押し付けられますし、農協改革の中では様々な改革案がどんどん進められます。

今後の争点として心配なのは「准組合員規制」ですが、そういう圧力が3～5年後に來ても大丈夫な体力をつける必要があります。

また農業後継者の課題では、昨年の新春座談会などでも酪農の若い人達と話して元気を貰いましたし、まだまだ農協のやり方次第では残ってやってくれと強く感じたので、そういう人たちが残り将来展望が持てる様に頑張らなければと思います。

厳しい中でも生き残っていけば、地域に下郷農協がある

ということが地域の方々の安心にもつながり、生活しようという希望にもなります。その大きな役割の一つが診療所やデイケア元気村です。様々な取り組みが出来るのも農協だからこそであり、そこで存在意義を示しながら色々な圧力に対抗していかなければと思います。

鈴木 頑張って生き残っていただく中で、若い人達にエネルギー・元気を出してもらいたいです。

農協が診療所を運営していることは全国でも珍しくて、ここに診療所やデイケアがある事で、組合員の皆さんが年をとっても安心して老後を過ごすことが出来る大きな一つの社会資源になっているので、多くの方々に利用してもらいたいですね。

さて、「デイケア元気村」では色々な行事や企画をしていると思いますが、これから利用しようかと思っている人や、ぜひ来てほしいと思っている方に、こんなことが楽しいよと言う企画など紹介してください。

曾 我 利用者様に季節を感じ

でもらうために、桜の時期にはお花見にドライブに出かけたり、秋には案山子を見にバスハイクに出かけたり、毎年企画して喜んでもらっています。

時 増 お出かけ以外では、毎月お楽しみレクリエーションをしたり、フルーツパフェなどのおやつ作りやクリスマスの飾り作りを皆さんでしています。

中 尾 特別な行事としては、お誕生日会を開いています。誕生日を迎えられた方にレイを掛け、皆さんから一言ずつお祝いの言葉を貰います。そのあと、皆でケーキを食べてお祝いします。

体験利用も随時受付けていますので、お気軽にご連絡ください。

鈴木 ぜひ、お誕生日会に参加してほしいし、こんな楽しい事が盛りだくさんのデイケアに組合員はじめ地域の方に

利用してもらいたいですね。最後に、デイケアスタッフの話聞いて、組合長より一言お願いします。

組合長 今回の新春座談会の目的の一つが、デイケア元気村の取り組みを広く知って頂く事であり、その上で、高齢化社会の中でどのように介護・福祉の分野で下郷農協がその役割を発揮していくかのヒントが浮かべばと思っていました。スタッフの皆さんは日々きつい仕事の中ですが、地域の方々が『元気で長生き』に暮らせるよう、下郷診療所と連携し地域医療のために努力されていることも分かりました。農協としてももっと「今よりも元気になるために」をアピールして、デイケア元気村に来ていただける様にしていきたいと思います。

また一年間仕事に頑張って頂き、ケガなく楽しく利用者様と過ごしてください。本日は有難うございました。
(*1) さだや文庫・下郷小学校入口にある、小学校児童全員が対象の学童保育施設。元保護者やPTA会員が運営。



中尾 裕 美さん

明けましておめでとうございます

養豚部

石川 栄二

昨年は熊本・大分地震でご心配をおかけしました。

夜中の突然の揺れ、直後真っ暗な中「ザーアー」という大量の砂が流れ落ちるような音が長く続いて不気味な一夜でした。各所で大きな被害が出る中で、

今一度原点にもどって

有機野菜生産出荷組合

組合長 鷹崎 満行

新年明けましておめでとうございます。

昨年をふりかえりますと、熊本・大分地震や台風等の自然災害に加え、夏の猛暑少雨、秋の高温多雨と異常な天候が続き、野菜栽培にはとてもきびしい一年ではなかったかと思えます。

また、野菜組合においては取引先との契約内容で認識不足等があり、初期の栽培管理で、多くの方々にご迷惑をおかけするような事になり、今一度原点に

我が家は豚舎も家も無事でホッとしましたが、熊本や湯布院などで被害の大きさに驚きました。

被害にあわれた方々の一日も早い復興となります様に願っています。

生産者が一軒になり、今までより出荷頭数も少なくなつてご迷惑をおかけしておりますが、安心な黒豚を引き続き生産してまいりますので、これからも応援よろしくお願い致します。

もどり、足もとを見直さなければと強く思うところでした。

私たち野菜組合は、高齢化や夏野菜の育苗等と多くの問題をかかえています。ひとつの打開策として共同の育苗施設の建設ができればと思っています。

共同の作業場での情報の交換、栽培指導等々できるのではないかと思うところです。

安全・安心な野菜を安定的に生産し、一人でも多くの消費者の方々にお届け出来るよう努力していきたいと思う次第です。

終りになりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

安全な食糧は日本の大地から

新日本婦人の会福岡県本部

会長 三輪 幸子

下郷農協のみなさんのおつきあいは40年以上になると思います。

43年前、神戸の方から北九州市に引越して来てこちらの牛乳が口に合わず困っていた時、新婦人若松支部で下郷農協見学のバスツアーが取り組まれました。子ども連れで参加し、その時に飲んだ牛乳のおいしかったこと、とても嬉しく感動したこと、と今でも覚えています。以来、牛乳・卵・野菜などずっと利用させていただき、安全な食糧へのこだわりは子ども・孫へと受け継がれています。

全国的に新婦人が産直運動に参加し始めたのは1988年のことです。政府による牛肉・オレジンなど農産物の輸入自由化が始まり、日本の農業に重大な困難をもたらすことになった時からです。「安全でおいしい野菜を食卓に」「消費者は共同購入して食べることで日本の農業を守る」の2点を大切にして利用者を増やしてきました。

1993年の冷夏による「米パニック」以来「やっぱり食べたい日本のお米」とお米の産直も広がっていきました。

福岡県内各地の新婦人支部でも26年ほど前から産直運動が始まり、現在では県内5つの農民連と下郷農協のみなさんと、田植え・稲刈りの交流会や産地見学、日本の農業を壊すTTPP反対運動などに取り組んでいます。

TTPPの先行きはわかりませんが、農協つぶしなど安倍政権の農業改革では日本の農業を守ることはできないと思います。

安全な食糧は日本の大地から、子どもたちの未来に安全な食糧と住み続けられる地球を残すために、これからもみなさんと交流を深め、産直を利用する仲間を広げ、ごいっしょに運動して日本の農業を守っていきたく思います。

す。

今後ともよろしく願ひします。



「なぜ健康米なのか」

健康米生産組合

組合長 吉原和泉

高くても安全な無農薬米が欲しいと言う人がいる。子供、孫には安心安全な米を食べさせたい、健全な身体のまま育てて貰いたいと願う消費者がいる。地域には農薬を使わず美しい自然のままで子供たちや集落到田畑を残したい健康米生産組合員がいる。

栽培区分は無農薬米、准無農薬米、健康米、准健康米の四種類があり、価格も四段階、圃場も価格が上になる程、収量も少なく、草が多く、草取りが間に合わず草の丈が稲穂の上に出てくる。しかし土壌の中は上にな

「母ちゃん達の元気」あればこそ

下郷農協女性部

部長 三上あけみ

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。年の初めにあたり、女性部の紹介をさせていただきます。

3年前女性部の存続が問題になった時、「農協には女性部は必要」と補助金を申請し財政的に心配がなくなり、まず自分達が楽しみ、得になる事、為（役に立つ）になる事からはじめようと規約をつくり、生産者でも消費者でも農協に関わる人は誰でも部員になれ、役員はできる事をするとして20名余の部員でスタートしました。

最初に得になる事で農協の品物を少しでもお手頃で買える様にと共同購入をはじめました。毎月第3土曜日を共同購入の日と決め、30品目位のメニューから選んで注文し買っています。その日は、お茶を飲みながらのおしゃべりや行事も定例になってきました。

秋の敬老行事は、女性部OBさんとのお楽しみ会を行い、昨年はこれまで農協をささえて頑張ってくれた組合員も招待しました。声かけが行き届かなかったかと思いますが…少ない部員で手が回らずすみませんでした。みなさんに楽しかったと言われ、部員一同良かったネと喜びました。

そして最大行事農協まつり、女性部の店もなくてはならない店になってきていると思っています。部員皆でできる事の参加で行っています。何よりもおいしかったとの喜びの声もはげみになっています。

わたしたちは農協女性組織綱領と五原則のもと健全な食と農を次代に引き継ぐため農協に結集して活動する組織です。

家庭も地域も農協も女性（母ちゃん達）の元気があればこそではないでしょうか。

今年はとり年、大いに羽ばたきみなさん御一緒に楽しみ、得になる事、為になる事をしましょう。

本所の事務所入口、購買レジ前にホワイトボードで女性部の行事をお知らせしています。

御参加をお待ちしています。

る程、健全で土壌微生物が豊富でありミミズ、カエル、ヘビが多く、小鳥から白サギが穂を頂いている。鹿、イノシシは侵入口はないか防護柵の周りに足跡を付けている。

先祖から受け継いだ無農薬田も年を重ねる度に地力がついてきた気がする、自分にも農力がついてきたのだから、出来た程で良い、無理をせずに繋いで行こう、健康米を必要とする消費者様に応援して頂けるから。年2回の圃場めぐりは田植後と稲刈り前に先輩方の経験聞きながら回り、その後北部振興局の方の専門指導を受け解ったような気もした。今年も、もう耕しの準備が進んでいる、健康米生産組合員は自然環境にやさしく安心安全な健康米を届けるために日々努力しています。

素晴らしい理念受け継いで

産直土の会役員

高橋麻理子

新年明けましておめでとうございます。

生産者の皆さん・農協職員の皆様さん、お元気で過ごしのことと思います。先日の「第60回下郷農協まつり」はお天気に恵まれ、盛況に終わったこと、大変うれしく、いつまでもこの祭りが続いてほしいと願いました。しかしながら、日本の農・畜産業は厳しい状況が続き、中で

も生産者の減少は深刻な問題です。農協まつりで確認した下郷農協の素晴らしい理念がこれからも受け継がれていくよう、これからの生産者の育成を心から望み、願っています。私たちも何とか新規会員を増やし、会員の皆さんに利用高の増加をお願いしていきます。

どうかこの一年が農協・生産者・産直消費者にとって明るい年となりますようお祈り申し上げます。

本年もよろしくお祈りいたします。

明けましておめでとうござい
ます。この連載も今号で三十六
回、おかげさまで三周年を迎え
ました。思い起こせば一ッ戸城
の歴史からスタートした「ここ
は下郷入口」ですが、四年目も
最新の一ッ戸城・中間氏情報か
ら始めたいと思います。本年も
よろしくお願い申し上げます。

【短編】

最近の郷土史あれこれ
その二

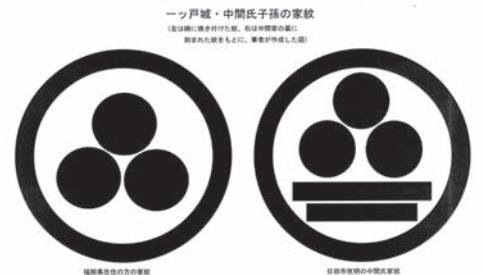
「一ッ戸城・中間氏の子孫」

二〇一六年九月下旬のこと。
編集部から「ここは下郷入口に
問い合わせがあり、連絡してほ
う」と言われ、連絡を取り合
うようになったのが愛知県に住
む一ッ戸城・中間氏の子孫の方
(女性)である。

十月にご主人とこちらへ来ら
れるとのことで、手持ちの資料
を早速に送り、「時間があれば
ぜひお会いしましょう」(今回
は時代劇風の会話なし。いたっ
て真面目に対応)ということに

なり、当日は一ッ戸城をバック
に記念撮影をして、中間氏の子
孫が代々暮らす日田市の夜明へ
とご案内した。突然訪ねたのだ
が、夜明のみなさんが快く受け
入れてくださり、夜明・中間氏
の子孫の方のお話しも聞けて、
中間家代々の墓もわかった。帰
りに山国の龜岡八幡宮、宮園の
雲八幡宮等を案内し、帰路に就
いた。この子孫の方は以前から
自らのルーツを粘り強く辿って
おり、今回の旅がその一助にな
ることを願うものである。

その数日後のことである。今
度は福岡県に住む中間氏の子孫
の方(こちらも女性)から電話
をいただいた。「先述の愛知県
の方に一ッ戸城のパンフレット
と冊子を送っていたら、身内
にも読ませたいので何冊か送っ
てほしい」とのこと。この福岡
県の女性は、「豊前一戸城誌」
の著者・故溝淵芳正氏とも面識
があるという。子孫のお二人と
交流できるようになって、新た
な発見があった。
それは、まず中間氏の家紋で



一ッ戸城・中間氏子孫の家紋 (筆者作成)

ある。日田市夜明・祝原の中間
氏は「丸に三つ星下に二本線」
であるが、福岡県の方は「丸に
三つ星」と茶碗に焼き付けられ
ている。『中間家譜』によれば「家
の紋輪の内に三つ星なれば…」
と記されており、どちらも一ッ

戸城・中
間氏系
の家紋
である
ことが
わかつた。
次に中
間統胤氏
(最後の
一ッ戸城
主)の両
親・忍可
夫妻の墓
について



中間統胤氏の父・忍可の墓と伝わる石塔
(小石原高木神社脇)

である。この二つの墓は、福岡
県・小石原の高木神社(大行事
神社)の境内にあるが、従来か
ら忍可の墓とされてきた墓が実
は妻の墓で、妻の墓とされてき
たほうが忍可の墓である可能性
が高まった。小石原の筆者の大
先輩から十年以上に撮った写
真と史料をいただき、写真にか
すかに残る碑文と史料の記述を
見比べて発見した。また忍可夫
妻の墓は、それぞれのお寺の宗
派が違うようである。これらの
詳細は、別の発行物で詳しく述
べることにする。
おかげさまで、眠れる歴史が
少しずつ目を覚ましかけている
ような新年である。

餅つきで交流

健康米生産者が学童の子どもたちと

十二月三日、下郷農協健康米生産組合（吉原和泉組合長）の会員他六名が、北九州市の

「学童クラブすだち（中谷淳代表）」へ出向き、稲作体験交流の仕上げとして、餅つきを行いました。

餅つき交流は下郷で行う六月の田植え、夏の草取り、十月の稲刈り体験に続く最後の仕上げ



先生や生産者の手ほどきでおもちを丸める子どもたち

として毎年企画しており、生産者と子どもたちの恒例行事になっています。

餅つきには小学校一～六年までの児童約五十名と先生五名が参加、生産者からアドバイスを受けながら蒸し上がったもち米をこねて、みんなの掛け声に合わせて交代で餅を搗いていきました。搗きあがった餅を先生に

切ってもらい子どもたちが丸めて仕上げました。

昼食は搗きたての餅と学童クラブが用意した豚汁を子どもたちと一緒にいただきました。「子どもたちと楽しく交流ができ、充実した一日になった」と参加した生産者は話していました。

理事会だより

十一月二十九日、第八回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項

- ①集落常会開催結果概要について
- ②監事監査実施結果概要について
- ③第六十回下郷農協まつり開催結果概要について
- ④その他

第一号議案

第一号議案…十月決算承認の件について

報告事項の集落常会開催結果概要については、十月二十六・二十七日一斉に開催された常会内容として、出席組合員数、出された意見・要望内容及びその回答（案）が示されました。

監事監査結果概要については、十一月七・八・十日の三日間行われた二〇一六年度上期決算に係る監事監査の指摘概要等を報告しました。

第六十回下郷農協まつりの開催結果概要については、十一月十三日開催の農協まつり収支概要はじめ、来場者数（主催者発表二、〇〇〇人）等を報告、各役員より感想を含め意見を出し合い、理事会としての総括を行いました。

第一号議案の十月決算承認の件については、事業利益△五、五五六千円の計画に対し△七、二四一千元で一、六八五千元の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち戻入益含の貸付四、九九六千元・共済二、〇八九千元・農産七、〇千円・九、二五四千円利益計上の牛乳四七九千円等が計画を超過達成、食肉五、三一六千円・診療所二、二三七千円・惣菜一、七六五千元・販売七六八千円等が未達成となりました。

第二号議案の財務改善計画書の承認については、平成二十七年度業務報告書において自己資本の基準を満たしていないため、財務改善計画書の提出を大分県より求められ、計画書（案）を理事会付議・承認を受けました。

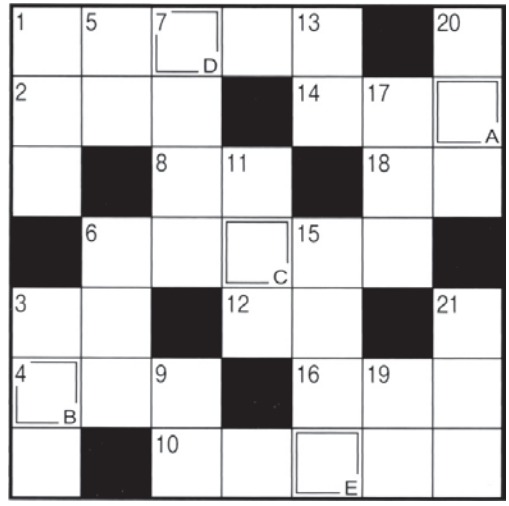
読者プレゼント
パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA〜Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?
タテのカギ

- 1 ひよつとことよく対にされます
- 3 英語でいうとファミリィー
- 5 凹がオウなら凸は
- 6 金剛力士のこと。あうんで一對
- 7 このわたや酒盗もこの一種
- 9 大豆は畑の——といわれます
- 11 物は——と新製品を買ってみた
- 13 牛乳を温めると表面にできます
- 15 足の末端のこと
- 17 京都・祇園の宴席に花を添えます
- 19 一年の——は元旦にあり
- 20 ダイコンや練り物、ゆで卵などをだ
- 21 正座をしていて切れることも



ヨコのカギ

- 1 子どもが楽しみにしている正月の臨時収入
- 2 昆布と——節でだしを取った
- 3 親子や兄弟でそっくりな人も
- 4 正月に付きものの汁物
- 6 笑うと負けよ、あっぷっぷ
- 8 がっかりしたときに落とします
- 10 タイヤにつないでシュッシュ
- 12 ボーダーやストライプ
- 14 落ち葉をかき集める道具
- 16 ノルウェーの画家、ムンクの代表的作品
- 18 忍者が指を組んで結ぶもの

クイズの正解者の中から抽選で二名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。
応募締切は二〇一七年一月二十日(必着)です。
① クイズのこたえ [A][B][C][D][E]
② 住所・氏名・電話番号
③ 下郷農協へのご意見ご要望など
以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三一
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五-四
下郷農協 企画部 宛
Faxの方は〇九七九-五六一二八八九
*個人情報是他社への開示は一切しません。当選者のみ紙面で公表させていただきます。
十二月号のこたえ 「ススハラライ」
当選者 大分市 大内 美枝子 様

クイズの正解者の中から抽選で一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。
当選者のお名前は次号で発表させていただきます。
応募締切は二〇一七年一月二十日(必着)です。

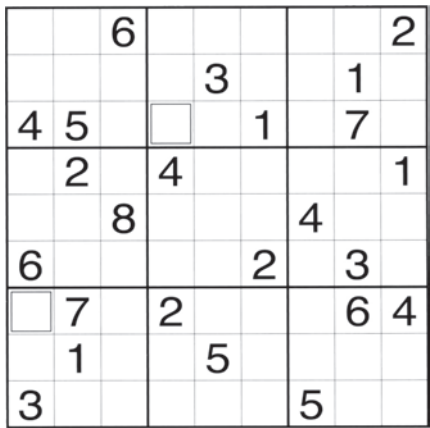
- ① クイズのこたえ 数字の合計
 - ② 住所・氏名・電話番号
 - ③ 下郷農協へのご意見ご要望など
- 以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三一
大分県中津市耶馬溪町大字大島二一五-四
下郷農協 企画部 宛
Faxの方は〇九七九-五六一二八八九

*個人情報是他社への開示は一切しません。当選者のみ紙面で公表させていただきます。
十二月号のこたえ
⑥+③=9
当選者
福岡市 若林 佳代子 様
農協商品をお届けします。
おめでとうございます。

2	7	5	6	3	9	1	4	8
3	9	4	8	1	7	5	6	2
8	1	6	4	2	5	3	7	9
7	2	9	1	5	6	8	3	4
4	5	1	3	7	8	2	9	6
6	3	8	2	9	4	7	1	5
9	8	7	5	4	1	6	2	3
5	4	3	7	6	2	9	8	1
1	6	2	9	8	3	4	5	7

数独 (すうどく)
二重枠に入った数字の合計はいくつ?

《数独のルール》
① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
② タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。



解答は次号で

